



だより



R6.7.9 Vol.14

完泳おめでとう！

一緒に水泳練習を頑張っていた男の子が、6月末に25m完泳しました。最後は気力で泳いでいました。泳ぎ切った瞬間！周りの子供たちから「おめでとう」の拍手が起こりました。歳取るといけませんね…涙腺が…。本当にすてきな子供たちです。

若い頃読んだ漫画のワンシーンを思い出しました。スイミングの練習を終えた男の子が、迎えに来ていた家の人に笑顔で駆け寄って、「すごいでしょ！進級したんだよ！」「そうか！えらかったな！〇〇！（子供の名前）」「違うよ！僕じゃないよ！友達の△△君だよ！」そんなシーンでした。漫画の中の話です。読んだ当時は、「はん！うそくさっ！」としか思いませんでした。が、今、いろんな経験をして思います。こんな子供に育ててほしい。我が子はもう手遅れですが（あ！もう子やらいが終わっているって意味ですよ…笑）教師として関わる子供にはこんな子供になってほしいと心から思います。

いいところは声に出して

先日の学校保健委員会での講話の一コマです。講師の幸田先生が「我が子のいいところを声に出して伝えてあげてくださいね。」そんな話をされました。これって自分の子育てにおいて、ほめ下手だった私には、とってもしんどいことでした。「以心伝心」「察する」等という言葉が示すように、日本文化はそれを美德とする面があります。それ自体が悪いこととは思いません。が、やっぱり、いいところを言ってもらえると、自信や自己肯定感が高まります。（大人でもそうではありませんか？）

ただ、とってつけたような美辞麗句は、年齢が上がってきた子供には見抜かれます。子供の言動に対して、「しんどいけど、よくがんばったね。」「お前のそういう素直なところ、いいと思うよ。」など、具体的な変化や成長、進歩を声に出して伝えてやるのが大切だと思います。



四方山話真穴 ver. 其の十四(なぜ学ぶのか？その②)

二つ目は欲望を実現するため！人にはいろいろな欲がありますよね。仏教の世界ではそれは108つの煩惱と呼ばれています。この煩惱を払うことが大切だとも言われますが、はっきり言って凡人の私には無理です。（笑）もちろん、物欲や金銭欲など大きすぎる欲望は害も多いんじゃない？と思いますが。しかしこの欲望こそが、学びの原動力だと思います。

例えば食欲。ここに二つの学習課題があるとします。「割合について考えよう！」もう一つは「美味しいラーメンを作ろう！」どちらが楽しそうですか？おそらく後者です。食欲に直結してますから（笑）この学習の中で、スープ成分や麺の材料の配合割合など、必ず割合の学習を通ります。おそらく美味しいラーメンを作るためなら、進んで学習することでしょう。そう考えると世の学問は元を辿れば、人間の欲望ですよね。

とは言っても、今、学習の真っ只中にいる小学生にとっては、目の前にある国語・算数・理科…という教科の学習をこなしていくだけで精一杯でしょうし、我々教員もまた、それをいかに分かりやすく学ばせるかということに心を砕いています。本来、欲望（よりよく暮らしたい、生きたいという願い）が先にあるはずなのですが、飽食の今の時代、先に学問がきてしまっている気もします。（そのあたりは、今の教育制度の見直し等の話にもなっていますが。）まあ、四の五の言っても前に進めませんので、私たち教員は、子供たちの欲求や好奇心が学びと関連付けられるよう、日々、腐心しています。9号でも触れましたが、日常の小さな疑問や欲求が学びと結びついたとき、人は学ぶ楽しさを感じ、その楽しさが新しい学びを生みます。（スポーツの世界もそうであると思います。）飽食の中では、疑問や欲求は生まれません。「なぜ学ぶのか？」を考えていくとき、少しの不便やストレスを子供に与えていくことも学びの一つの側面として大切なのかなあという気がしています。